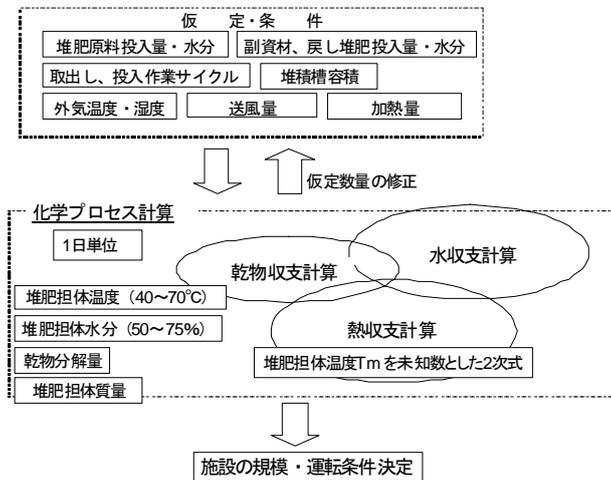


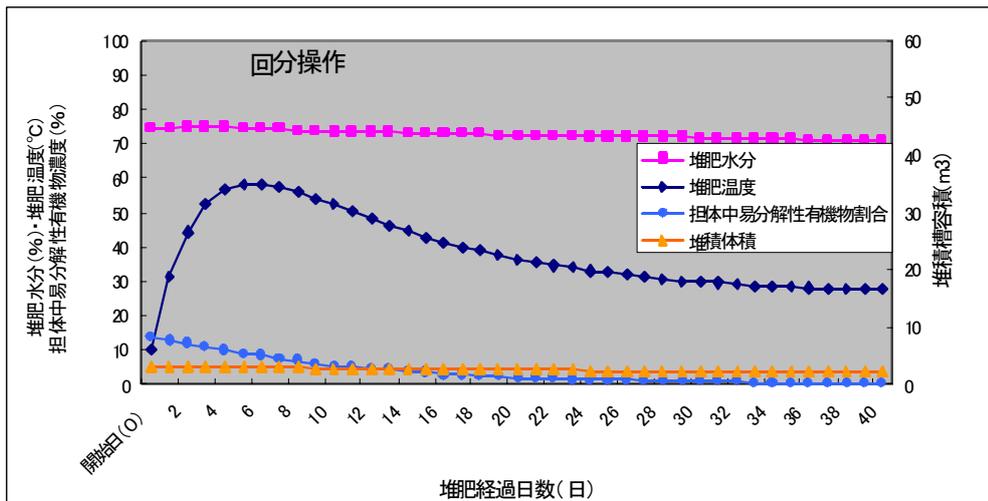
日本畜産環境学会における研究成果の発表

8月2日、3日、岐阜県高山市で開催された日本畜産環境学会第6回大会において、「物質収支・熱収支を用いた通気型堆肥舎の規模数量、運転操作条件の推定」と題して、安富専門員が発表しました。

この方法は、これまで経験則に頼っていた堆肥舎のコンディションの推定を化学プロセス計算の手法を用いて行うもので、堆肥の温度や水分、乾物分解量を推定できるため、新たな設計用数値の決定方法として注目を集めました。



化学プロセス計算法を用いた堆肥化施設規模決定計算フロー



堆肥コンディションの推移